

# 平成29年度事業計画書

平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 領域横断的集学的治療支援センター

## 1 事業実施の方針

領域横断的集学的治療支援センターの主たる事業として、平成29年度も引き続き、文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム（平成26年度）領域横断的内視鏡手術エキスパート育成プログラム」において、患者様本位の集学的治療の実現化と普及・発展に必要な人材とシステム確立のための調査・研究支援事業を行う。

特に、領域横断的な臨床研究、臨床試験、化学療法を含めた集学的治療の高度専門スタッフの育成及び教育の支援事業において、領域横断的内視鏡手術エキスパート育成プログラムの大動物実習、Cadaver手術、実臨床研修の実習、スケジュール管理、報告書管理等、実習およびマネージメント業務全般を支援する。

領域横断的集学的治療に関するさらなる普及啓発活動の一環および寄付・賛助会員獲得のために、平成28年3月1日、開設・公開したホームページにおいて、日々活動状況を更新するとともに、支援法人・個人（寄付、賛助会員、協賛等）の公示・募集等、慶應義塾大学医学部外科学教室、領域横断的内視鏡手術エキスパート育成プログラム（PROCESS）等、関連ホームページとのリンクができるよう、ホームページの修正を行う（<http://npocmtc.jp/>）。

平成29年9月16日（土曜日）、慶應義塾大学三田北館ホール、ファカルティクラブにおいて、慶應義塾大学医学部が実施している「文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム（平成26年度）領域横断的内視鏡手術エキスパート育成事業（PROCESS）」の活動報告および連携大学（岩手医科大学、東京医科大学八王子医療センター、北里大学医学部）、連携機関（公益財団法人癌研有明病院）、連携学会（日本内視鏡外科学会）、関連企業に参加していただき、領域横断的な内視鏡手術の将来、産学連携を含めたオールジャパン体制の確立のためのシンポジウムを協賛する。

一般市民に対する普及啓発事業の一環および寄付・賛助会員獲得のために、平成28年度と同様、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社メディカルカンパニーが、深刻な医師不足が懸念されている中、将来を担う多くの学生たちに、最新の治療の体験を通じて、「将来医師になりたい」、「医療に携わりたい」という興味を抱いて欲しいという思いから、実際に治療現場で使用される医療機器を用いて実施している手術体験セミナー（ブラックジャックセミナー）を慶應義塾大学医学部と共に協賛する。

一般市民に対する普及啓発事業の一環および寄付・賛助会員獲得のために、平成28年度と同様、世田谷区、国立研究開発法人国立成育医療研究センター、学校法人昭和女子大学、特定非営利活動法人小児臨床研究支援ネットワーク等と協賛し、セミナー等を協賛する。

平成29年6月16日（金曜日）および11月（日程調整中）の2回、一般市民に対する普及啓発、社会貢献、社会奉仕、地域活性化のためのボランティアおよび寄付・賛助会員獲得のために、平成28年度と同様、公益社団法人玉川法人会第6支部・第8支部合同税務研修講演会における講演依頼を受け、理事秋元信吾が、「最新の医療情報、NPO法人領域横断的集学的治療支援センター、NPO法人小児臨床研究支援ネットワークの社会貢献活動」について、講演する。

平成29年12月7日（木曜日）～12月9日（土曜日）、第30回日本内視鏡外科学会（坂井義治京都大学医学部消化管外科教授 国立京都国際会館）において、「領域横断的・海外展開・今後の教育」等をキーワードに、日本の内視鏡外科領域のキーパーソンが参加し、日本内視鏡外科学会、PROCESSが共催する2時間のシンポジウムを協賛する。

平成30年1月18日（金曜日）～1月20日（日曜日）、高度専門スタッフの育成及び教育の支援事業、小児疾患臨床研究に関する教育支援事業、小児疾患臨床研究に関する情報収集並びに情報提供事業、小児疾患臨床研究に関する各種専門家、各種団体・研究機関との連携構築事業、小児疾患臨床研究に関する国際交流事業、小児疾患臨床研究に関する普及啓発事業の一環として、慶應義塾大学医学部北里記念図書館講堂において、「第3回日本小児がん研究グループ（JCCG）固形腫瘍分科会・がんプロフェッショナル共催」を特定非営利活動法人小児臨床研究支援ネットワークと共に協賛する。

平成30年3月(日程調整中)慶應義塾大学医学部東校舎講堂における文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム(平成26年度)領域横断的内視鏡手術エキスパート育成プログラム」平成29年度報告会において、慶應義塾大学医学部教職員と新たな治療法の開発や研究者主導臨床研究および集学的治療研究を行う研究機関や研究者に対して、高度専門スタッフの育成及び教育の支援事業、領域横断的集学的治療に関する情報収集並びに情報提供事業、各種専門家、各種団体・研究機関との連携構築事業、国際交流事業、普及啓発活動を協賛する。

## 2 事業の実施に関する事項

### 1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期人数	受益対象者の範囲及び予定期人数	事業費の予定期額(千円)
領域横断的な臨床研究、臨床試験、化学療法を含めた集学的治療の実施支援事業	領域横断的集学的治療および領域横断的集学的治療の実施に関する診断の実施支援	平成28年4月1日から平成29年3月31日	法人事務所・慶應義塾大学医学部内視鏡手術トレーニングセンター	12人	領域横断的集学的治療がん罹患者約174,000人および治療を実施する医師約48,000人、医療機関409施設	665
領域横断的な臨床研究、臨床試験、化学療法を含めた集学的治療の高度専門スタッフの育成及び教育の支援事業	領域横断的集学的治療および領域横断的集学的治療の実施に関する診断に関する医師に対する、1~2週間程度の研修	平成28年4月1日から平成29年3月31日	法人事務所・慶應義塾大学医学部内視鏡手術トレーニングセンター	12人	領域横断的集学的治療がん罹患者約174,000人および治療を実施する医師約48,000人、医療機関409施設	2,200
領域横断的な臨床研究、臨床試験、化学療法を含めた集学的治療に関する情報収集、情報提供、教育、普及啓発事業	領域横断的集学的治療および領域横断的集学的治療の実施に関する診断において、慶應義塾大学医学部内視鏡手術トレーニングセンターと共同して研究会を開催し、臨床研究参加施設および研究者(専門家)に対して、情報収集・情報提供・教育・普及啓発活動をする	平成28年4月1日から平成29年3月31日	慶應義塾大学医学部内視鏡手術トレーニングセンターが関連する研究会開催会場、その他各種学会、研究会、講演会、セミナー会場	69人	領域横断的集学的治療がん罹患者約174,000人および治療を実施する医師約48,000人、医療機関409施設	

領域横断的な臨床研究、臨床試験、化学療法を含めた集学的治療に関する各種専門家、各種団体、研究機関との連携構築事業	領域横断的集学的治療および領域横断的集学的治療の実施に関する診断において、慶應義塾大学医学部内視鏡手術トレーニングセンターと共同して実施される臨床研究参加施設および研究者（専門家）同士の連携構築のための会議、打ち合わせ	平成28年4月1日から平成29年3月31日	慶應義塾大学医学部内視鏡手術トレーニングセンターが関連する研究会開催会場、その他各種学会、研究会、講演会、セミナー会場	69人	領域横断的集学的治療がん罹患者約174,000人および治療を実施する医師約48,000人、医療機関409施設
領域横断的な臨床研究、臨床試験、化学療法を含めた集学的治療に関する国際交流事業	領域横断的集学的治療および領域横断的集学的治療の実施に関する診断に関する海外臨床研究グループあるいは研究会、学会等への参加および会議、打ち合わせによる海外研究者との情報交換	平成28年4月1日から平成29年3月31日	慶應義塾大学医学部内視鏡手術トレーニングセンターが関連する研究会開催会場、その他各種学会、研究会、講演会、セミナー会場	69人	領域横断的集学的治療がん罹患者約174,000人および治療を実施する医師約48,000人、医療機関409施設
領域横断的な臨床研究、臨床試験、化学療法を含めた集学的治療に関するホームページ等による普及啓発事業	一般市民を対象とした領域横断的集学的治療および領域横断的集学的治療の実施に関する診断に関する講演会、セミナーの開催およびホームページによる普及啓発	平成28年4月1日から平成29年3月31日	各種学会、研究会、講演、セミナー会場	12人	領域横断的集学的治療の対象となりえる患者および患者家族約35万人

## (2) その他の事業

事業名	事業内容	実予定期	実予定場所	従事者の予定人数	事業費の予定額(千円)